



# 2011年3月期第1四半期 決算プレゼンテーション

平成22年7月30日

加賀電子株式会社(東証1部:証券コード8154)

〒101-8629 東京都千代田区外神田3-12-8

TEL:03-4455-3131

FAX:03-3815-6807

<http://www.taxan.co.jp>

 **加賀電子株式会社**

# 2011年3月期 第1四半期 決算ハイライト

# ■ 2011年3月期 第1四半期 決算ハイライト

## 連結損益計算書の業績比較

(単位:百万円)

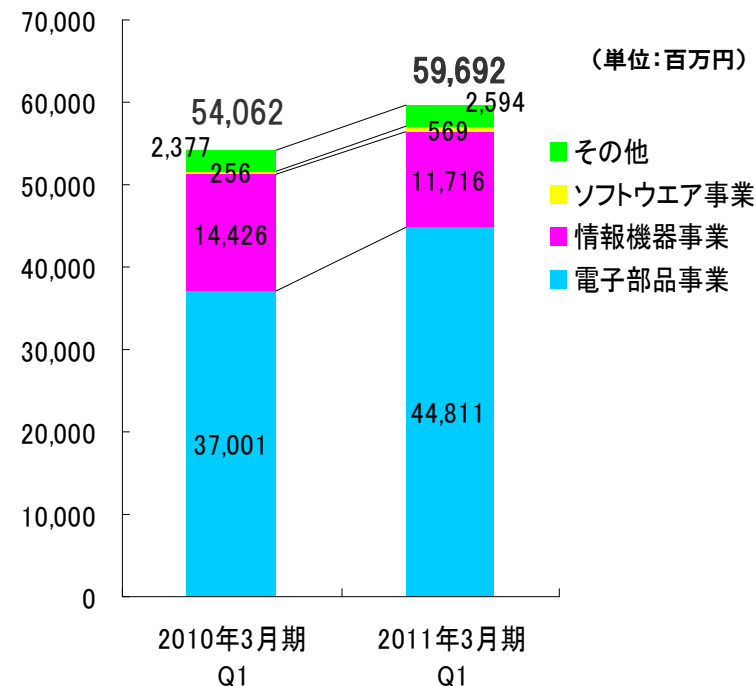
	2010年3月期Q1		2011年3月期Q1		増減	
	金額	構成	金額	構成	増減	増減率
売上高	54,062	100.0%	59,692	100.0%	5,630	10.4%
売上原価	47,615	88.1%	51,900	86.9%	4,285	9.0%
売上総利益	6,447	11.9%	7,792	13.1%	1,345	20.9%
販売費及び一般管理費	6,700	12.4%	6,875	11.5%	175	2.6%
営業利益	-253	-0.5%	916	1.5%	1,169	-
営業外収益	158	0.3%	196	0.3%	38	24.1%
営業外費用	186	0.3%	119	0.2%	-67	-36.0%
経常利益	-281	-0.5%	993	1.7%	1,274	-
特別損益	24	0.04%	90	0.2%	66	275.0%
税金等調整前当期純利益	-257	-0.5%	1,083	1.8%	1,340	-
法人税及び住民税	263	0.5%	386	0.6%	123	46.8%
法人税等調整額	162	0.3%	127	0.21%	-35	-21.6%
少数株主利益	-42	-0.08%	16	0.03%	58	-138.1%
当期純利益	-640	-1.2%	552	0.9%	1,192	-

# 連結セグメント別「売上高」実績比較

(単位:百万円)

	2010年3月期 第一四半期		2011年3月期 第一四半期		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減比
電子部品事業	37,001	68.4%	44,811	75.1%	7,810	21.1%
情報機器事業	14,426	26.7%	11,716	19.6%	-2,710	-18.8%
ソフトウェア事業	256	0.5%	569	1.0%	313	122.3%
その他	2,377	4.4%	2,594	4.3%	217	9.1%
計	54,062	100.0%	59,692	100.0%	5,630	10.4%

(注)前期実績は、今年度より新設されたセグメントのため、「参考数値」となります。



## 主な増減のポイント

### ■「電子部品事業」売上高:前年同期比+7,810百万円(21.1%増)

薄型テレビなどのデジタル家電や携帯電話、パーソナルコンピュータ向けなどの半導体や電子部品の売上高が順調に推移し、LED照明用電子部品などの販売も売上を伸ばすことができました。加えて、国内や海外におけるEMSビジネスも受注が増加いたしました。

### ■「情報機器事業」売上高:前年同期比-2,710百万円(18.8%減)

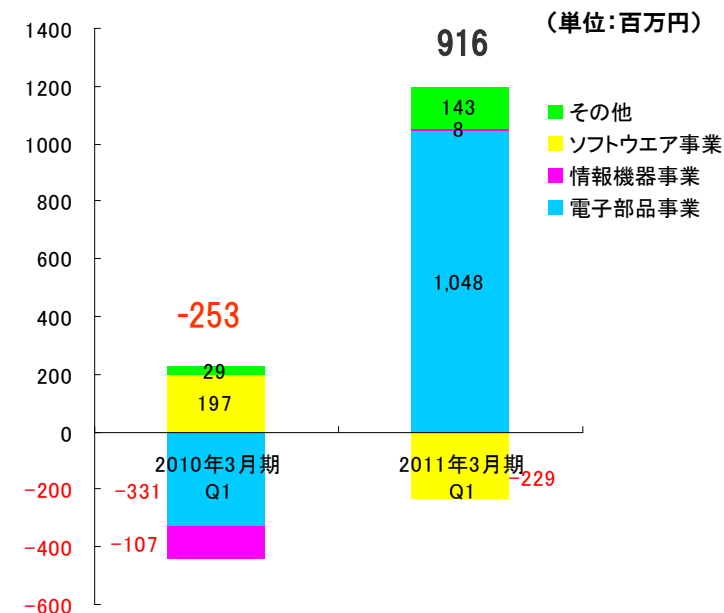
セキュリティ関連機器の販売や教育市場向けの売上が好調に推移いたしました。また、前期にグループ会社となりました「加賀テクノサービス(旧東京電電工業)」の取扱高が寄与いたしました。また、家電量販店や専門店向け大手パソコンメーカー製品の取扱高が大幅に減少いたしました。

# 連結セグメント別「営業利益」実績比較

(単位:百万円)

	2010年3月期 第1四半期	2011年3月期 第1四半期	増減
電子部品事業	-331	1,048	1,379
情報機器事業	-107	8	115
ソフトウェア事業	197	-229	-426
その他	29	143	114
計	-253	916	1,169

(注)前期実績は、今年度より新設されたセグメントのため「参考数値」となります。



## 主な増減のポイント

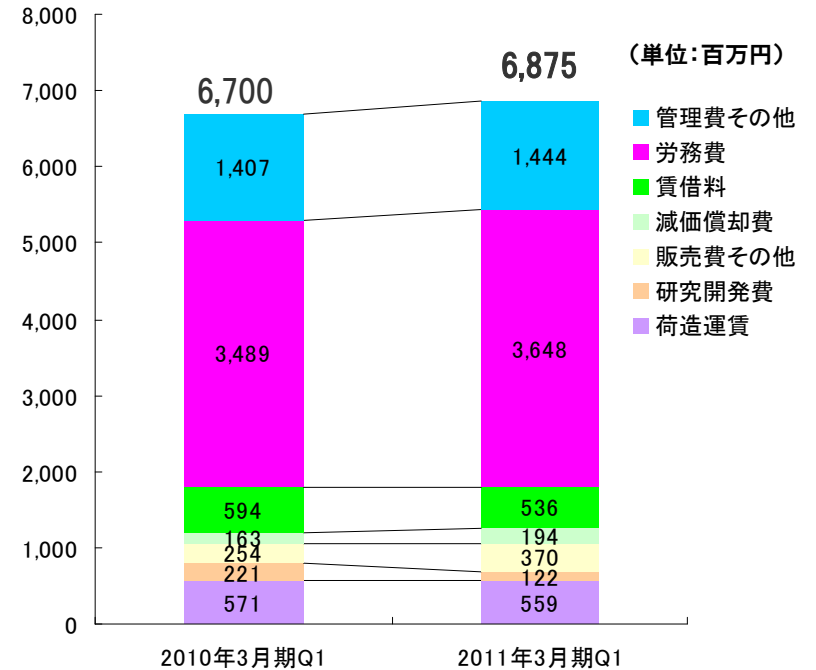
- 「電子部品事業」：加賀電子単体の売上高増加(3,495百万円増加)に伴う営業利益の増加(755百万円増加)などにより、前年同期比:1, 379百万円増加。(前年同期は331百万円の営業損失)
- 「情報機器事業」：大手パソコンメーカーの取扱高が商流の変更などにより売上高は減少したものの、高収益商品の販売などにより利益率が改善し、前年同期比:115百万円増加。(前年同期は107百万円の営業損失)
- 「ソフトウェア事業」：新たにグループ会社となったゲーム制作会社「サイバーフロント」の新タイトルの売上高が著作権の償却費や制作費をカバーできなかったことなどにより、前年同期比:426百万円減少。(前年同期は197百万円の営業利益)

# 販売管理費の状況（2010年3月期Q1及び2011年3月期Q1）

販売管理費増減比較表

（単位：百万円）

	2010年3月期Q1		2011年3月期Q1		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減比
荷造運賃	571	8.5%	559	8.1%	-12	-2.1%
研究開発費	221	3.3%	122	1.8%	-99	-44.8%
その他	254	3.8%	370	5.4%	116	45.7%
販売費計	1,046	15.6%	1,051	15.3%	5	0.5%
減価償却費	163	2.4%	194	2.8%	31	19.0%
賃借料	594	8.9%	536	7.8%	-58	-9.8%
労務費	3,489	52.1%	3,648	53.1%	159	4.6%
その他	1,407	21.0%	1,444	21.0%	37	2.6%
管理費計	5,653	84.4%	5,822	84.7%	169	3.0%
販管費合計	6,700	100.0%	6,875	100.0%	175	2.6%



## 主な増減のポイント

- **販売費**：荷造運賃費・加賀ハイテック(株)の売上減少などにより、前期に比べ12百万円減少いたしました。  
研究開発費・エスアイエレクトロニクス(株)による画像処理用ICの開発費が減少したことなどにより、前期に比べ99百万円減少いたしました。
- **管理費**：労務費・前期比159百万円増加。社員数：前期比599名増加(4,762名→5,361名)  
※増加要因：サイバーフロントなど新規連結対象会社の人員増加のため。

# ■ 2011年3月期 第1四半期 決算ハイライト

## 連結貸借対照表の業績比較

(単位:百万円)

	10年3月期 期末	11年3月期 Q1	増減
(資産の部)	113,962	112,476	-1,486
流動資産	96,838	94,729	-2,109
現金及び預金	11,917	12,269	352
受取手形・売掛金	59,214	55,561	-3,653
商品及び製品	14,483	14,576	93
仕掛品	647	961	314
原材料及び貯蔵品	3,011	3,587	576
その他	7,566	7,775	209
固定資産	17,123	17,746	623
有形固定資産	6,434	7,115	681
無形固定資産	1,901	2,260	359
投資等	8,786	8,370	-416
資産合計	113,962	112,476	-1,486

	10年3月期 期末	11年3月期 Q1	増減
(負債の部)	65,408	64,521	-887
流動負債	58,779	57,692	-1,087
支払手形・買掛金	43,535	44,857	1,322
短期借入金	8,935	6,841	-2,094
その他	6,309	5,994	-315
固定負債	6,629	6,828	199
長期借入金	2,500	2,387	-113
その他	4,129	4,441	312
(純資産の部)	48,553	47,955	-598
株主資本			
資本金	12,133	12,133	0
資本剰余金	13,912	13,912	0
利益剰余金	24,012	24,150	138
自己株式	-1,332	-1,332	0
評価・換算差額	-1,884	-2,601	-717
少数株主持分	1,711	1,690	-21
負債・純資産合計	113,962	112,476	-1,486

## ■ 2011年3月期 決算予想

### 連結損益計算書の計画比較 (2010年3月期及び2011年3月期計画)

(単位:百万円)

	2010年3月期 (実績)		2011年3月期 (計画)		増減	
	金額	構成	金額	構成	増減	増減率
売上高	239,391	100.0%	225,000	100.0%	-14,391	-6.0%
売上原価	211,153	88.2%	195,000	86.7%	-16,153	-7.6%
売上総利益	28,237	11.8%	30,000	13.3%	1,763	6.2%
販売費及び一般管理費	26,655	11.1%	28,300	12.6%	1,645	6.2%
営業利益	1,582	0.7%	1,700	0.8%	118	7.5%
営業外損益	-302	-0.1%	400	0.2%	702	-
経常利益	1,280	0.5%	2,100	0.9%	820	64.1%
特別損益	116	0.1%	0	0.0%	-116	-
法人税等	1,714	6.1%	800	2.7%	-914	-53.3%
当期純利益	-318	-0.2%	1,300	0.6%	1,618	-

# セグメント別「売上高」計画（2010年3月期及び2011年3月期計画）

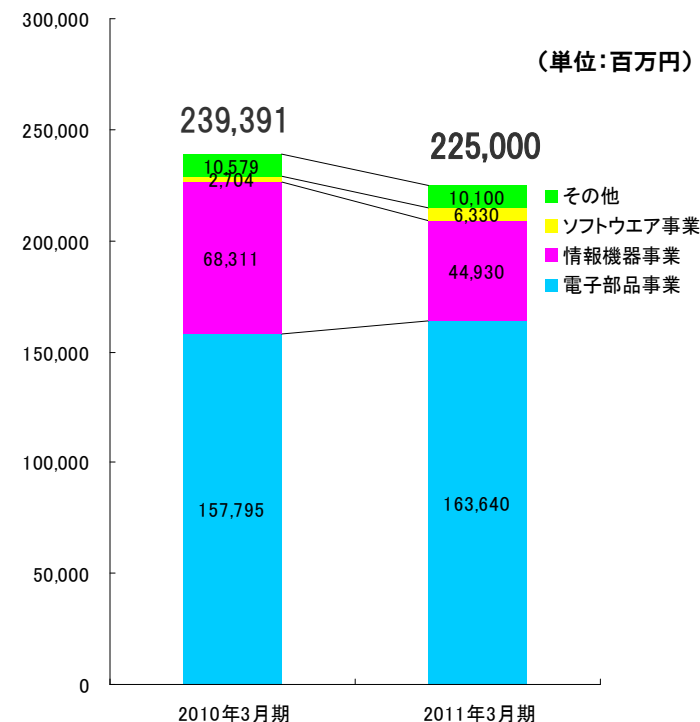
（単位：百万円）

	2010年3月期		2011年3月期(予)		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減比
電子部品事業	157,795	65.9%	163,640	72.7%	5,845	3.7%
情報機器事業	68,311	28.5%	44,930	20.0%	-23,381	-34.2%
ソフトウェア事業	2,704	1.1%	6,330	2.8%	3,626	134.1%
その他	10,579	4.4%	10,100	4.5%	-479	-4.5%
計	239,391	100.0%	225,000	100.0%	-14,391	-6.0%

（注）前期実績は、今年度より新設されたセグメントのため「参考数値」となります。

## 主な増減のポイント

- 「電子部品事業」：各種電子機器メーカーの生産調整がほぼ終了し、民生機器や産業機器向けの一部に対し受注が回復基調となりました。また国内および海外におけるEMSビジネスの取扱高が増加することにより、前年同期比+5,845百万円増加(+8.7%)。
- 「情報機器事業」：大手パソコンメーカー製品の取扱高の減少により、前年同期比23,381百万円減少(-34.2%)。
- 「ソフトウェア事業」：今期から新たに連結対象となったグループ会社「サイバーフロント」や、「加賀テクノサービス」の売上高が寄与したことなどにより、前年同期比3,626百万円(+134.1%)。



# セグメント別「営業利益」計画（2010年3月期及び2011年3月期計画）

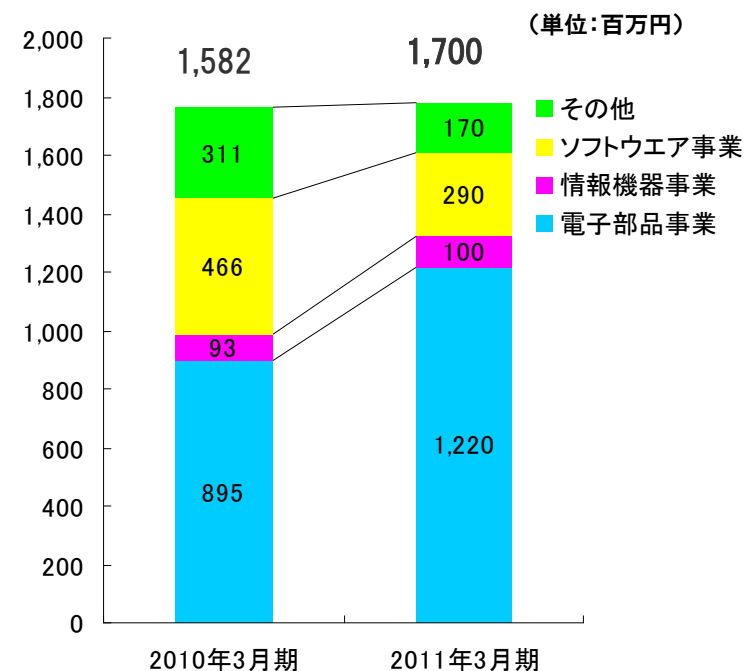
（単位：百万円）

	2010年3月期	2011年3月期(予)	増減
電子部品事業	895	1,220	325
情報機器事業	93	100	7
ソフトウェア事業	466	290	-176
その他	311	170	-141
計	1,582	1,700	118

（注）前期実績は、今年度より新設されたセグメントのため「参考数値」となります。

## 主な増減のポイント

- 「電子部品事業」：景気回復による民生機器や産業機器向けの一部に対する受注増や国内EMSビジネスの増加により、前年同期比+325百万円増加(+36.3%)。
- 「情報機器事業」：大手パーソナルコンピュータメーカーの取扱高が商流の変更などにより売上高は減少するものの物流費の減少や高収益商品の販売などにより利益率が改善し、前年同期比：7百万円増加(+7.5%)。
- 「ソフトウェア事業」：新たにグループ会社となったゲーム制作会社「サイバーフロント」の制作費などが増加したことなどにより、前年同期比：178百万円減少(-37.8%)。

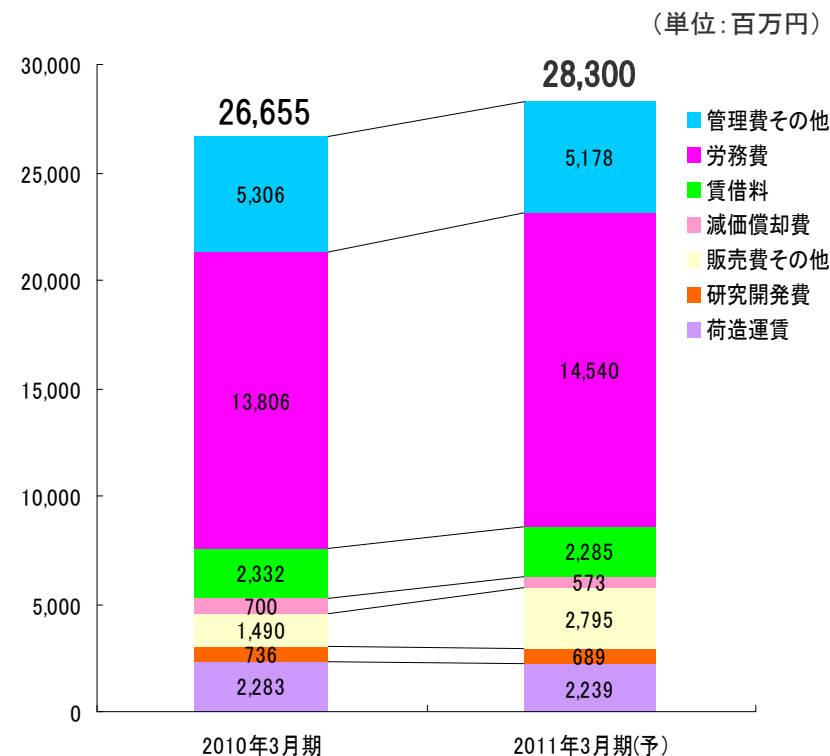


# ・ 販売管理費の状況（2010年3月期及び2011年3月期計画）

販売管理費増減比較表

（単位：百万円）

	2010年3月期		2011年3月期(予)		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
荷造運賃	2,283	8.6%	2,239	7.9%	-44
研究開発費	736	2.8%	689	2.4%	-47
その他	1,490	5.6%	2,795	9.9%	1,305
<b>販売費計</b>	<b>4,509</b>	<b>16.9%</b>	<b>5,723</b>	<b>20.2%</b>	<b>1,214</b>
減価償却費	700	2.6%	573	2.0%	-127
賃借料	2,332	8.7%	2,285	8.1%	-47
労務費	13,806	51.8%	14,540	51.4%	734
その他	5,306	19.9%	5,178	18.3%	-128
<b>管理費計</b>	<b>22,144</b>	<b>83.1%</b>	<b>22,576</b>	<b>79.8%</b>	<b>432</b>
<b>販管費合計</b>	<b>26,655</b>	<b>100.0%</b>	<b>28,300</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,645</b>



## 主な増減のポイント

- **販売費**：荷造運賃・・・加賀ハイテックにおける売上高の減少などに伴い、前期比44百万円減少
- **管理費**：労務費・・・前期734百万円増加。社員数：前期比263名増加(4,885名→5,148名)  
※増加要因：今期からグループ会社となった「サイバーフロント(株)」分など

# 当期のトピックスについて

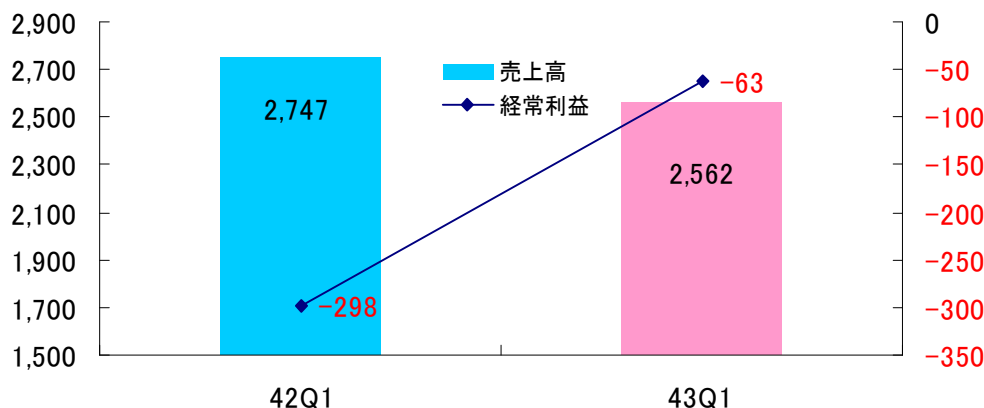
～業績不振会社の状況～

# ■当期のトピックス ～当期業績不振子会社について～

## 加賀コンポーネント

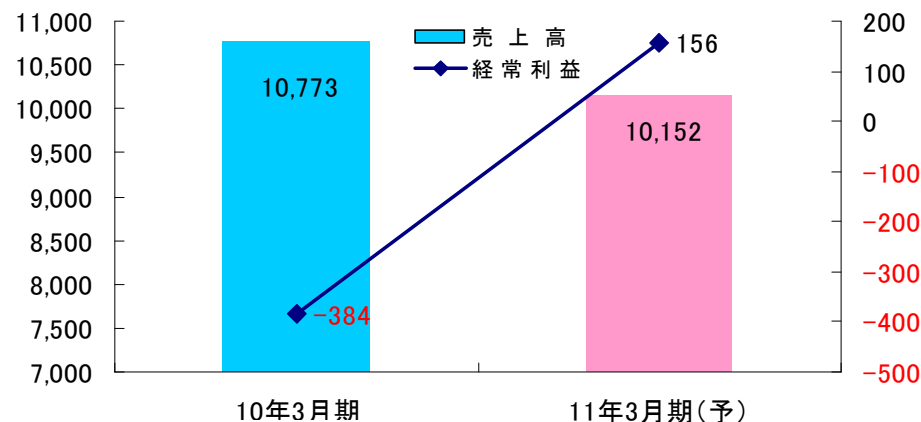
### 第1四半期比較

単位:百万円



### 通期比較

単位:百万円



(注)前期実績は、今年度より新設されたセグメントのため「参考数値」となります。

### <要因説明> 電子部品事業 (電源電子機器の製造販売)

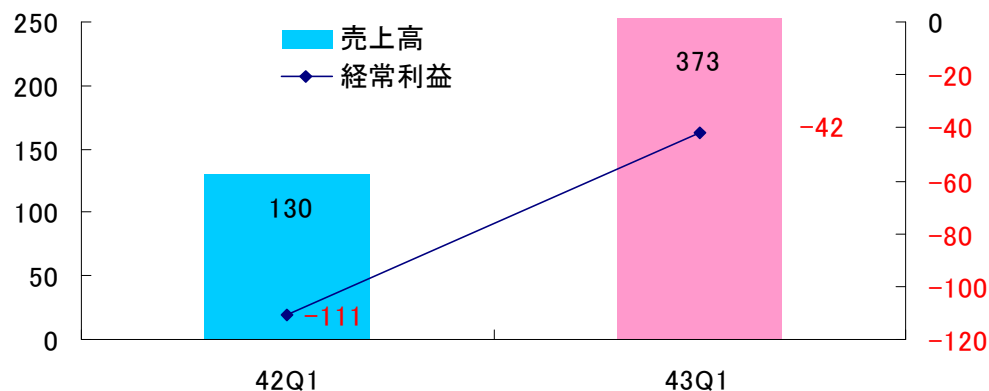
- ・ プロジェクト事業を整理縮小したことにより、売上高は減少したものの、自社での開発を中止し、OEMで供給を受けた機種のみ販売をすることにより開発費を削減。前期に実施した不良在庫の処分が終了したため利益改善。
- ・ 従来の電源のほか、環境関連製品向けの電源開発の製造に注力。
- ・ 海外の不採算工場の閉鎖を実施することにより、効率的な経営環境を構築する。

# ■当期のトピックス ～当期業績不振子会社について～

## エスアイエレクトロニクス

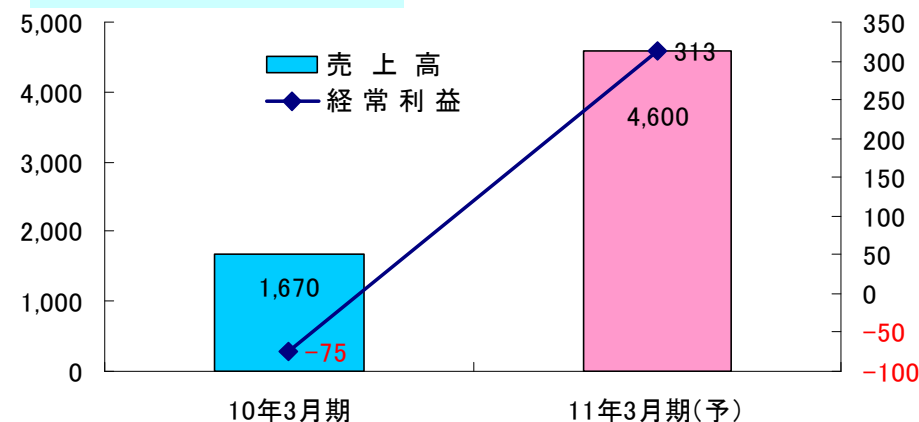
### 第1四半期比較

単位:百万円



### 通期比較

単位:百万円



(注)前期実績は、今年度より新設されたセグメントのため「参考数値」となります。

### <要因説明> ソフトウェア事業 (画像表示関連装置の開発設計・製造・販売)

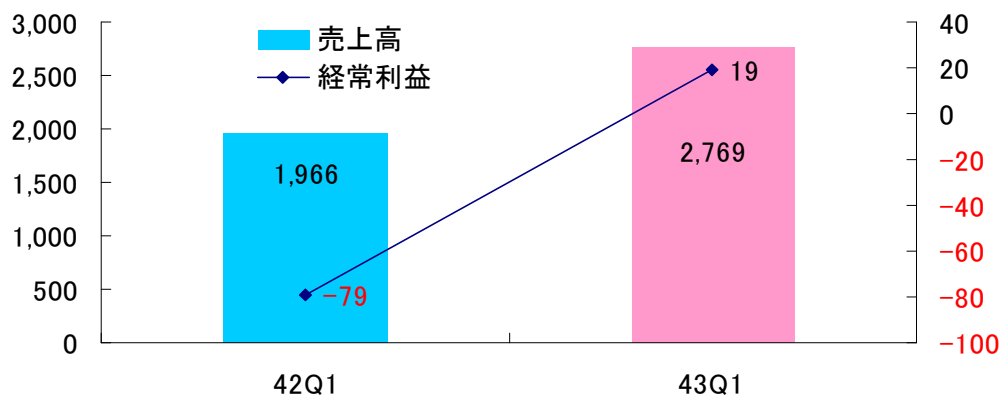
- ・ 前期に開発を行っていた画像表示用ASIC「Y3」がほぼ終了したことにより収益体質が改善。
- ・ 既存ビジネスに加え、アミューズメントメーカー向けの取扱高が増加したところにより売上高増 (前年同期比:243百万円増)。
- ・ 今期から、2D表示に加え3D表示用グラフィックエンジンの開発終了に伴い、今後遊技機器向けの量産受注を見込む。

# ■当期のトピックス ～当期業績不振子会社について～

## エー・ディ・エム

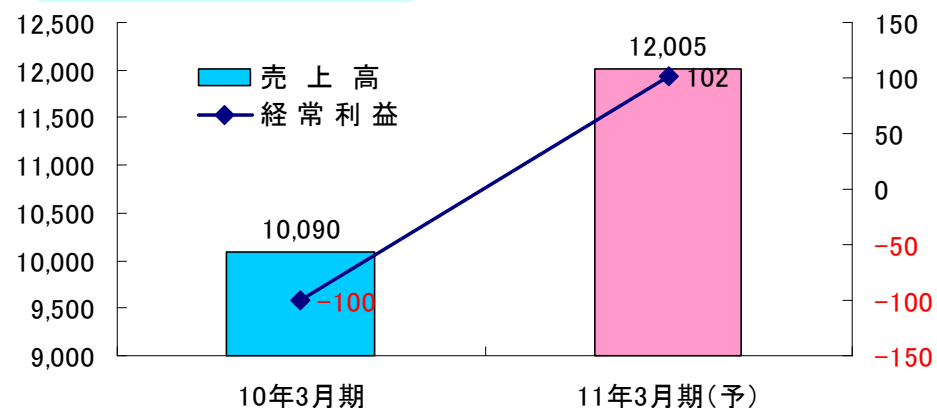
### 第1四半期比較

単位:百万円



### 通期比較

単位:百万円



(注)前期実績は、今年度より新設されたセグメントのため「参考数値」となります。

### <要因説明> 半導体部門(米国ADI社製品を中心とした電子部品・電子機器の販売)

- ・メーカーによる在庫調整の進展や携帯電話向けカメラモジュール、中国向け新規ビジネスの再開などにより売上高は堅調に推移。コンシューマー製品向けなどで低価格化が進んだため収益は伸び悩んでいるが、収益力の高い産業機器向けの取扱高が回復。
- ・製品開発からの営業活動やグループ連携で売上高の拡大を図る。



## 加賀電子株式会社

〒101-8629

東京都千代田区外神田3-12-8

住友不動産秋葉原ビル

問合せ先: 広報室

TEL: 03-4455-3131

FAX: 03-3815-6807

E-mail: [webmaster@taxan.co.jp](mailto:webmaster@taxan.co.jp)

<http://www.taxan.co.jp>